

経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県 黒潮町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	58.09	98.92	3,047	

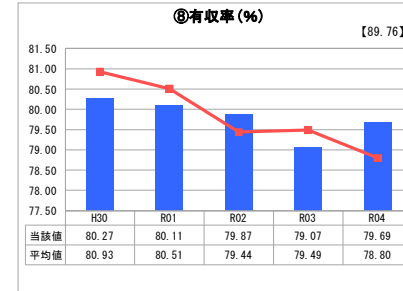
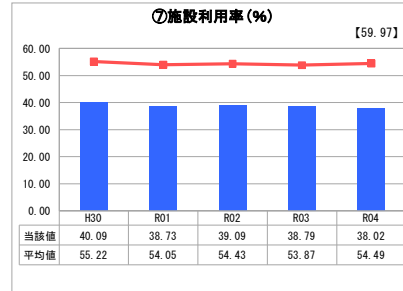
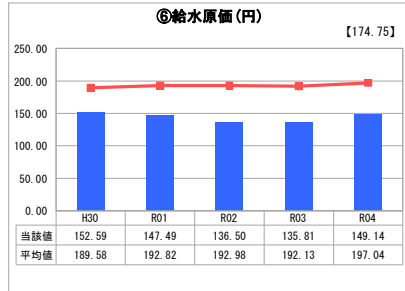
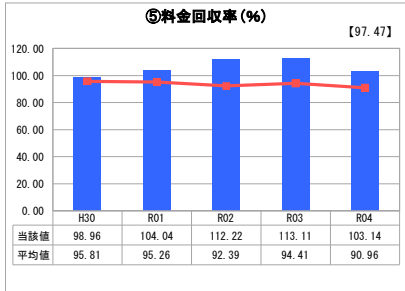
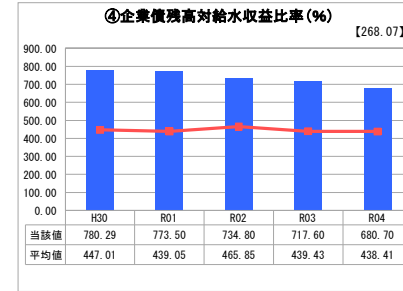
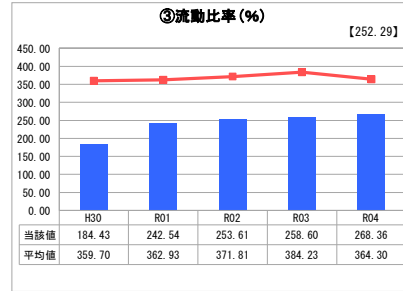
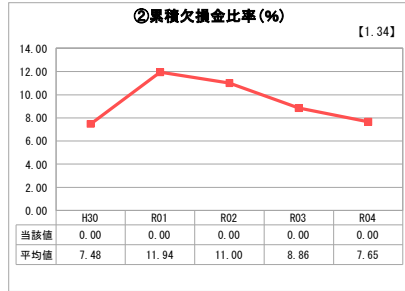
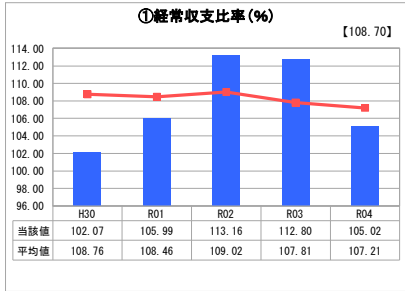
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,411	188.46	55.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,243	228.76	44.78

グラフ凡例

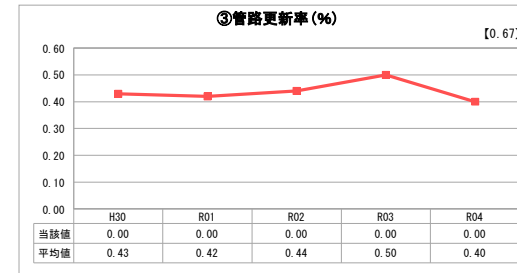
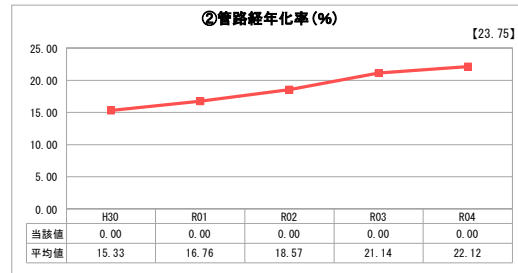
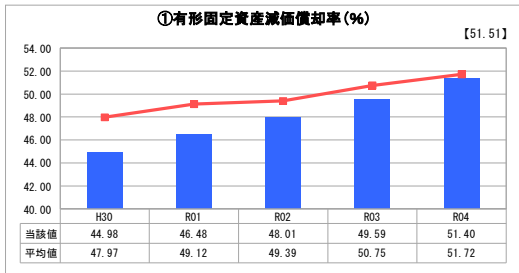
- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

經常収支比率については、単年度収支が赤字かどうかを示すもので、100%を下回れば赤字ということになります。令和4年度は前年度より下がりましたが、これは浄水場の排水管の設置など必要なことを実施したため費用が多くなったもので、100%を下回っておらず、また全国の類似団体平均値よりも高い数値となっているので今すぐになにかをしなければならない状況ではないと分析しています。今後もこの比率が100%を下回ることのないように取り組みます。料金回収率は、給水にかかる費用がどの程度給水収益（水道料金）で賄われているかの指標で、これが100%を下回れば、料金以外の収入で賄われていることとなります。令和4年度は、100%を上回っているため、料金で給水費用が賄えています。上記のことを総合的に分析して、今すぐになにか費用をカットする必要は無いと考えますが、今後もこのような分析を継続しながら、安定した水道事業経営に取り組みしていきます。

2. 老朽化の状況について

固定資産減価償却率が51.4%となり、全体の固定資産の半分以上が減価償却を終えている状況となりました。これは水道事業の所有する固定資産の老朽化を示す一つの指標です。老朽化については、整備時期が同じ管路については、同時に更新時期が到来しますが、限られた予算で更新を行っていくために、経営戦略や水道施設耐震化計画に基づき、計画的な管路更新・投資を行っていきます。

全体総括

上記のことを踏まえ、将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給するため、引き続き、経営戦略をはじめとする各種計画の見直しをしていきます。また、施設の更新については、アセットマネジメント等各種計画を活用し、長期的に安定した水道事業経営に取り組みます。